

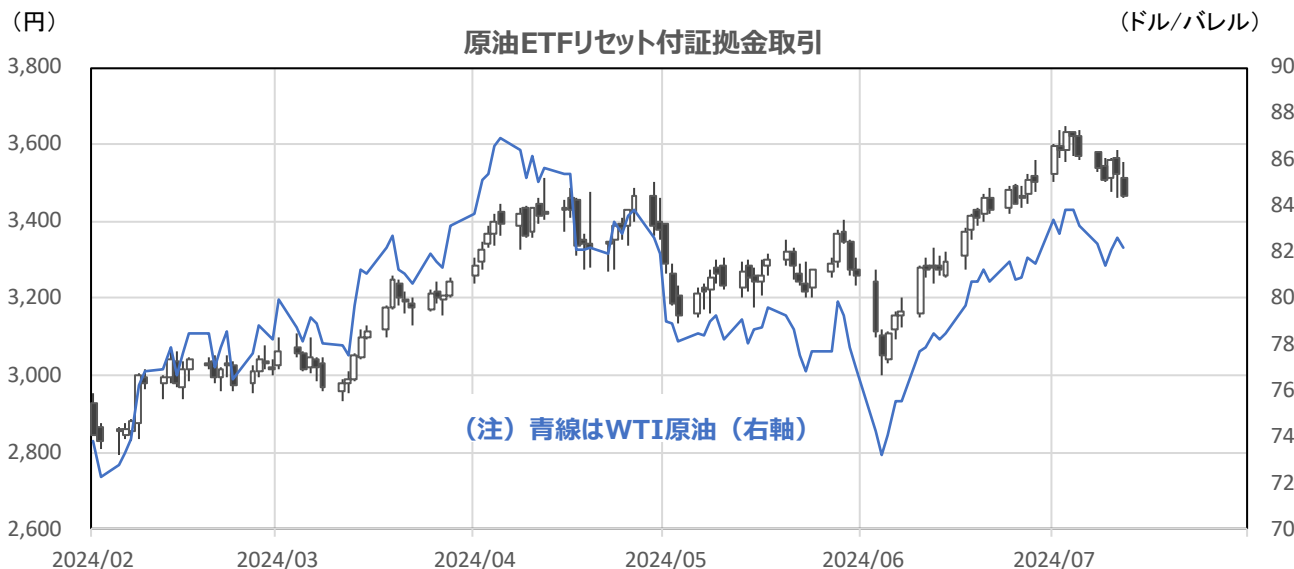
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/07/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

80ドル台前半で売買交錯

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半で揉み合う展開になった。イスラエルとハマスの停戦協議が進展する可能性を背景に利食い売りが膨らみ、7月10日には80.81ドルまで下落した。しかし、その後は改めて需給ひっ迫見通しを織り込む動きが優勢になり、82ドル台まで切り返している。前週比ではマイナス圏に沈んでいるが、大きな値動きには発展しなかった。米連邦準備制度理事会（FRB）の早期利下げ観測が米金利低下・ドル安を促していることはポジティブ。

イスラエルとハマスの停戦協議は、どのような状況にあるのか情報が乏しい。イスラエルはガザ地区に対する攻撃を続けていることで交渉決裂が警戒される一方、ハマスが恒久的停戦にこだわらない譲歩をみせていることで交渉がまとまるとの見方もある。少なくとも早期の停戦合意期待は後退しているが、改めて中東地政学リスクを織り込むような動きはみられず、決定打を欠いた状態にある。結果的に原油相場も上げ一服感が強い一方で、80ドル割れには抵抗を見せる展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月5日時点）は、原油が前週344万バレル減、ガソリンが201万バレル減、石油精製品が488万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給要因で下値堅いが、本格上昇は困難か

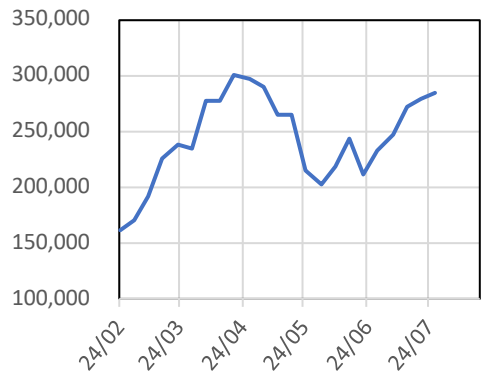
需給引き締め観測が下値を支え、80～85ドルのレンジで底固く推移しよう。前週は2024年の世界石油需要について、石油輸出国機構（OPEC）が前年比で日量255万バレル増とする一方、国際エネルギー機関（IEA）は100万バレル増に届かないと、大きく異なる需要見通しを示した。ただし、7～9月期に関しては季節的な需要拡大を背景に供給不足が発生する可能性が高いとの両者の見通しに違いはなく、短期的にはマクロ需給要因で下値をサポートされる展開が続く見通し。

中長期的には、電気自動車（EV）の普及、省エネルギー技術の進展、世界経済の減速傾向などもあり、原油需要動向には不確実性が高い。OPECとIEAのどちらか、もしくは双方の需要見通しが現実と大きくかい離している可能性がある。しかし、7～9月期に関してはガソリンやジェット燃料といった輸送用エネルギー需要が堅調に推移する一方、OPECプラスの減産体制が維持されるため、世界的に在庫の取り崩しが進む見通しにある。

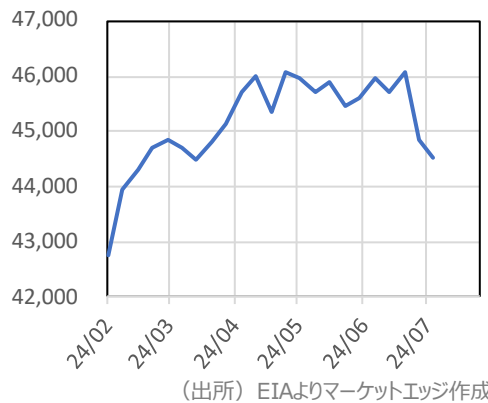
需要不安を著しく高めるような動きには注意が求められるが、そうした動きがみられないのであれば、原油相場はこのまま80ドル台前半で底固さを見せる展開になろう。特に米原油在庫の減少傾向が続き、為替がドル安傾向を維持すると、買い安心感が強まりやすくなる。

一方で、イスラエルとハマスの停戦協議は現状と見通しの把握が難しい状況にある。現状では早期合意の可能性は低いとの見方が基本になるが、停戦合意を期待させるような動きがみられると改めて短期筋の利食い売りが膨らむ可能性があることに注意が求められる。

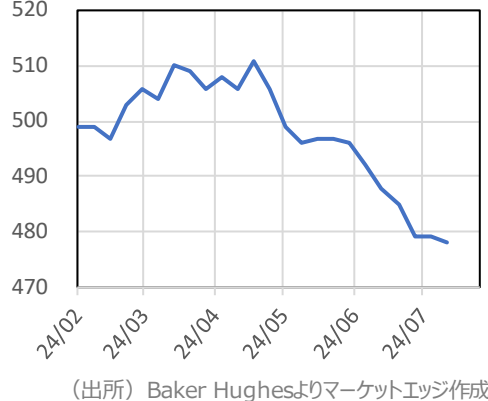
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

